

鹿角市中心市街地活性化

プログラム概要 : 鹿角市中心市街地の魅力を考えるワークショップ

実習先 : 秋田県鹿角市中心市街地ほか

実習先情報 : 鹿角市の人口減少とともに中心市街地の賑わいが失われている。来街者を増やす手立てが求められている。

参加人数 : 本学14名、鹿角市中高生10名

学部学科 : 日本文学文化学科、日本語コミュニケーション学科、政治学科、経済学科、経営学科、環境システム学科、環境デザイン学科

実習期間 : 令和5年8月6日～13日

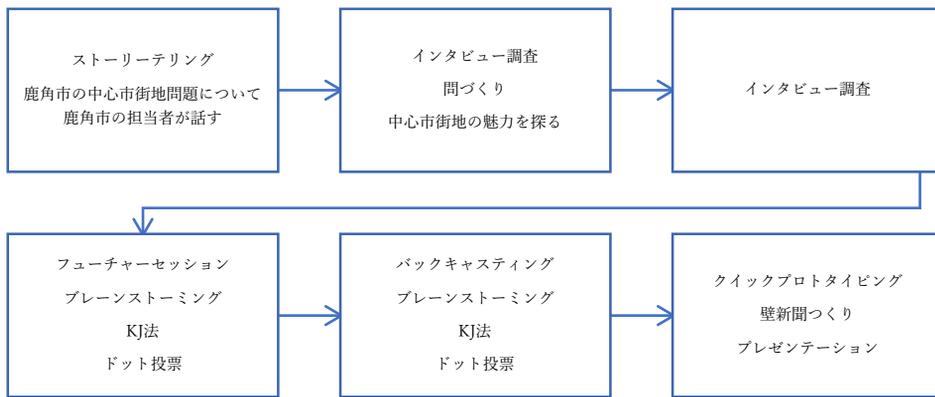
本学担当教員 : 小暮真人(経営学科)

1. 趣旨

これまでの成果を踏まえ、「鹿角市の中心市街地の魅力」が何なのかについてフューチャーセッションを実施し、その魅力を具体化するための提案を行ったものである。

2. 学習内容

地域課題の解決に有効なワークショップを実践した。また、ワークショップに必要なアンケート調査を実施した。



インタビュー



フューチャーセッション



バックキャストイング

3. 提案

A班「めざせ！ルンルン ランラン商店街～しったげ魅力ある町 鹿角～」

A班は、中心市街地の将来像を「めざせ！ルンルン ランラン商店街～しったげ魅力ある町 鹿角～」とし、理想のまちとして活気があり、見映えが良い都市像を描いた。その都市像に対し、現在、不足するものとしてハードとソフトの課題を抽出した。ハード面では、必要な施設がないことと、施設が老朽化しているという課題に整理し、ソフト面では情報不足と雰囲気不足を課題として挙げた。これらの課題解決のために、若者が欲しい施設をつくる、鹿角の特産品などを扱う期間限定ショップ、自家用車利用者が多いことに着目したドライブスルー制度、街歩きのための商店街マップをつくる、情報発信力を向上するためのピクトグラムの修正、SNSでのPRなどを挙げた。

B班「かづのアンサンブル～人が集まるまちを目指して～」

B班の挙げた中心市街地の将来像は「かづのアンサンブル～人が集まるまちを目指して～」で、その将来像を実現するための課題を運営体制、食イベント、店の工夫の3点に集約した。さらに中心市街地の魅力として花輪ねぶた、花輪ばやしなどの鹿角ならではのイベント、きりたんぽ、鹿角ホルモン、北限の桃などの特産品、鹿角の人の優しさ、おすそ分け文化を挙げている。中心市街地で特産品を扱うイベントを鹿角の人が中心となって展開することを提案している。



クイックプロトタイピング

C班「人々で賑わう花輪へ～誰もが来たくなる街づくり～」

C班は、「人々で賑わう花輪へ～誰もが来たくなる街づくり～」を将来像として掲げ、空き店舗や空き地が多いこと、賑わいや情報の不足、住民ニーズにマッチングした店舗、施設が少ないことを課題として挙げた。こうした課題を解決するために、商店街でイベントを実施すること、各世代が利用したくなる新しい施設やサービスを提案している。空き店舗を利用した期間限定のショップ、集客施設でのチラシ配布、ラジオやSNSの活用したイベントPRなどは注目できる。具体的には中高生が学校帰りなどにスポーツができる施設、シニア向けのリサイクルショップや洋服屋、家族が過ごせる場所やイベントである。特に、鹿角の特産品を使った地元の人向けの食べ歩きイベントの提案は、人口減少しても地域の持続可能性を高める内発的発展の思想とも合致している。

D班「人が戻りたくなる街づくり」

D班は、中心市街地の課題として「人が戻りたくなる街づくり」とし、その将来像を「鹿角市の特産物で中心市街地を明るく」、「子育てしやすい環境」を描く。その課題は、中心市街地で鹿角の特産品を味わえる場所がない、交通手段が少ない、子どもが思い切り遊べる場所が少ないという3点とした。解決策として月1回、鹿角特産品市を開催する、中高生が放課後立ち寄れるお店づくり、自転車やキックボードのレンタル、安心・安全な遊び場づくりを提案している。

E班「商店街を全世代が集う場へ」

E班は、「商店街を全世代が集う場へ」を将来像とし、世代別に足りていないものを挙げている。今回のインタビューで様々な世代の声を聴くことができ、世代別にニーズの違いがあることに着目したものである。例えば高齢者は、気楽に立ち寄り、様々な人と話せる場所や体を動かす場所を必要としており、若者は遊ぶ場所が少ないと感じている。また、子育て世代にとっては、子供が安心・安全に遊べる場所や親子で過ごせる場所、イベント、お店が少ないという問題がある。駐車場不足は、全世代に共通した課題となっている。そして、これらの課題を解決するために、中心市街地の空き店舗を活用することを提案している。アクセサリショップ、カラオケ、ファストフード、ファミレスなど様々な可能性を模索し、さらに世代別にセグメントしている。三世代に共通した中心市街地の魅力を具体化するものとして、ファミレス、ファストフード店、駐車場、洋服屋、映画館を提案している。



プレゼンテーション